

令和6年8月27日



担当課	総務企画課
担当者	藤原
電話	(073) 488-5102
内線	

## 3類感染症（腸管出血性大腸菌感染症）について

①

病名	腸管出血性大腸菌感染症（O157）
患者	和歌山市内在住 30歳代 男性
届出年月日	令和6年8月21日
経過	8月15日（木）腹痛、下痢、血便 8月16日（金）腹痛、下痢、血便 医療機関受診 検便 8月21日（木）検便の結果 O157ペロ毒素（+） 主治医から届出  現在、症状は治まっています。

②

病名	腸管出血性大腸菌感染症（O157）
患者	和歌山市内在住 10歳未満 男性
届出年月日	令和6年8月24日
経過	①の同居者 8月17日（土）軟便 8月18日（日）下痢、発熱 8月19日（月）下痢、発熱、腹痛 8月20日（火）下痢 8月21日（水）下痢 医療機関受診 検便 8月24日（土）接触者検便の結果 O157ペロ毒素（+）  現在、症状は治まっています。

プライバシーの保護については、十分なご配慮をお願いします。

《参考 本症の発生状況》

令和6年8月27日現在

	和歌山市	和歌山県（市内含む）	備考
令和6年	10名（2名無症状者含む）	20名（8名無症状者含む）	本患者含む
令和5年	15名（3名無症状者含む）	21名（3名無症状者含む）	
令和4年	14名（6名無症状者含む）	16名（6名無症状者含む）	

- ・腸管出血性大腸菌感染症は、年間を通じて発生しますが、特に夏季に多い感染症です。
- ・調理の前や食事前、また排便後などには、十分に手洗いをしてください。
- ・食品を十分に加熱したり、調理後の食品はなるべく食べきるなどの注意が大切です。
- ・特に、小さなお子さんや高齢者、抵抗力が弱い方は重症化しやすいので、生肉や加熱不十分な肉料理を食べないように気をつけましょう。
- ・腹痛・下痢などの症状がみられた場合には、早めに医療機関を受診しましょう。